

言語学基礎講義Ⅱ

科目ナンバリング LIN-302
必修 2単位

李 英蘭

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、言語学基礎講義Ⅰの続きで、言語学の基礎知識を基に、言葉と社会との関係を探求することを目的とする。それを「社会言語学」と言う。本授業では、言語が社会からいかに影響を受けているのか、また言語が社会にいかなる影響を与えているのか、その関係性について、さまざまな研究事例を紹介しながら学習する。そして、自分の周りの社会現象と言葉との関係を考えてもらう。

2. 授業の到達目標

- ① 言語と社会との関係性についての理解を深める。
- ② 学習者の周りの社会現象と言語との関わりを考える。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況・授業参加度・小テスト・課題・及びレポートなどを総合して評価する。

平常点:30%(出席・授業参加度・小テスト・課題) 中間レポート:30% 期末テスト:40%

4. 教科書・参考文献

教科書

岩田裕子、重光由加、村田泰美 概説社会言語学 ひつじ書房(2013)

参考文献

南雅彦

東照二 社会志向の言語学

社会言語学入門(改訂版) くろしお出版(2017)

研究社(2020)

5. 準備学修の内容

各回の授業内容を確認し、教科書の該当ページを読んでくること。

6. その他履修上の注意事項

- ① 授業には積極的な参加すること。
- ② 授業中に出されるトピックについてしっかり考えること。
- ③ 欠席・遅刻しないこと。(原則として3回以上欠席した場合は、成績評価の対象から除外する。なお、30分以上の遅刻は出席として認めない。)
- ④ 期末試験未受験の場合は、成績評価の対象から除外する。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス(オンライン) |
| 【第2回】 | 社会言語学とは |
| 【第3回】 | 言語と地域 |
| 【第4回】 | 言語と社会階層 |
| 【第5回】 | 言語と民族 |
| 【第6回】 | 言語とジェンダー |
| 【第7回】 | 言語と年齢 |
| 【第8回】 | 言語の選択 |
| 【第9回】 | 言語の状況差、適切さ |
| 【第10回】 | ポライトネス |
| 【第11回】 | 会話のしくみ |
| 【第12回】 | 社会言語学と異文化コミュニケーション |
| 【第13回】 | さまざまな会話のスタイル |
| 【第14回】 | まとめ(オンライン補講) |
| 【第15回】 | 期末試験 |

※この授業内容はあくまでも予定であり、変更されることもある。